

子や孫が希望を持てる県政



香川県議会議員

三野やすひろ

決意を新たに

この4年間、常に現場の実態把握や県民の皆様の声に耳を傾ける姿勢を心がけて議員活動が続けてまいりました。

おかげをもちまして、県議会議員として実質一期目で「国直轄事業負担金問題の制度見直し」をはじめ、大きな課題から小さな問題まで、数々の仕事が一歩も二歩も進んでいます。

県はこの6年間、2度の財政再建で行政改革や職員の賃金カット、公共事業の削減などを進めてきましたが、財政再建を果たせなかつたわけです。

大元の国と地方の権限と財源の仕組みを変えない限り、地方財政は健全化しません。このままでは、地方分権は掛け声だけに終わってしまいます。

今日、地方財政の悪化の原因である地方交付税の不足分を赤字地方債でまかなっている現状を変えるために、県民世論を喚起し、他県を巻き込んだ全国的な運動になるように戦略的に展開しなければなりません。

地方財政に精通している三野康祐が、その議論の旗振り役を県議会でも担い、県財政のチェック機能を高めながら、限られた財源の中で県内にお金が回っていくきめ細かな政策を提言する役割を果たしていきます。

私の目指していくスローガンである「子や孫が希望を持てる政治」を作り上げるために、これからも頑張っていきます。

是非とも、県民皆様のご指導、ご支援をよろしく願います。

の4年間の実績

財政に精通「三野議員の質問には説得力がある」

4 少人数学級を拡充

中学校に続き、小学校に少人数学級の導入を粘り強く働きかける 高学年で実施される！



子どもたちにも大好評

低コスト・低管理の鳥取方式が県内の小学校に徐々に広がる

校庭の芝生化を提唱

「小さな問題まで」事をこなす三野県議

高齢者健康保持のために

ラウンドゴルフ場の整備



早朝議会報告活動



県道に「愛称」をつける！

街づくりのために

一生懸命取り組む

三野やすひろの

県行政25年の経験が即戦力として力を発揮

1 地方分権を推進

国直轄事業負担金問題を発覚させる
制度の見直しにつなげる



マスコミの取材に答える三野県議

2 栗林公園の景観保全のために

栗林公園北部周辺の景観保全のために
高さ制限の地区計画策定に尽力



「大きな課題から」 1期目から数々の仕



気さくに県民相談



5 地域を暮らしやすくするために

河川改修、道路改修、急傾斜地崩壊対策



交通安全対策

県・市道の速度規制、道路標識、ミラー設置

6 地域の皆さんの要望にも耳を傾け、

一人ひとりが輝ける香川をめざして

暮らしやすい社会

- 「子育て」ができる環境整備を進めます。
- 地域医療を守る仕組みとして、県主導による医師の確保を図り、研修制度の充実と各病院への派遣制度を整備します。
- 地域密着型の小規模で、介護・独居・ひきこもりなど、誰でも利用できる総合福祉施設を作ります。

活力のある社会

- 地元企業中心の身近な公共事業への転換を図ります。
- 太陽光発電、耐震診断改修の助成事業の推進と住宅リフォームをリンクさせ、民間需要を創出します。
- 学校給食の食材を地域で生産する仕組みづくりを進めます。
- 介護、医療、森林、環境産業の育成で雇用を創出します。
- 中小企業の経営指導と融資の一体的支援の整備を図ります。

夢のある未来のための社会

- 将来負担（借金）を考えた県財政運営
- 人権尊重、優しい心、根気強さを備えた豊かな人格形成を大事にする情操教育・社会教育を推進します。
- 香川特有の文化を育成し、情報発信します。
- 協力して知恵を出し合う知識社会をつくりま

環境にやさしい社会

- 市民農園の拡大や定年退職者等を対象に農作業受託者を育成し、耕作放棄地の拡大を防止します。
- 里山、ため池、森林整備、校庭の芝生化など「みどりの公共事業」を推進します。
- 生ゴミ、し尿、浄化槽汚泥を地域資源として循環させるバイオマス資源化を推進します。



三野やすひろは…

走り続けます！

三野やすひろ後援会事務所

住所: 〒761-8054 高松市東ハゼ町 681-1
TEL: (087)869-2270
FAX: (087)869-2280
Email: minochan@athena.ocn.ne.jp
web: <http://www.mino-jimusho.com/>

お近くにお立ち寄りの際はぜひお越しください！

移転
しました

新
事務所
位置
図
map

